

平成30年度
公益社団法人 福島県視覚障がい者福祉協会 事業報告

1 事業活動方針

- (1) 視覚障がい者の自立及び社会参加支援のための情報の提供に関する事業
- (2) 視覚障がい者の社会参加を支援する各種研修会に関する事業
- (3) 視覚障がい者の情報技術の習得及び活用に関する事業
- (4) 視覚障がい者の自立を促進するための生活相談及び生活用具の活用に関する事業
- (5) 視覚障がい者の文化・スポーツの振興に関する事業
- (6) その他この法人の目的を達成のために必要な事業

2 主な事業報告

- (1) 視覚障がい者の自立及び社会参加支援のための情報の提供に関する事業

○広く利用者の意見を取り入れて、点訳・音訳図書等の製作や貸し出しを行った。また、点訳・音訳奉仕員の養成を行った。

今年度は、福島県点字図書館（以下「図書館」と略す）の運営状況や、その課題を検討する目的で、図書館運営委員会を1回（3月）開催し、本協会役員と図書館職員の意見交換を行った。

○「電話ナビゲーションシステム」や「視覚障がい者情報総合ネットワークシステム サピエ」を活用し、視覚障がい者向けの各種情報の配信サービスを行った。

○「点字広報ふくしま」や「愛盲時報」などの定期刊行物の配信サービスを行った。

○本協会ホームページを活用して、より多くの情報提供を行った。

○本協会の活動の様子を紹介する機関誌を9月に発行し、より多くの情報提供を行った。

- (2) 視覚障がい者の社会参加を支援する各種研修会に関する事業

○職業自立講習会、白杖歩行スキルアップセミナー、調理教室、大正琴教室など、生活技能向上ならびに自立のための各種研修会を福島県視覚障がい者生活支援センター（以下「センター」と略す）等で行った。

○視覚障がい者の活動に欠かせない、同行援護従事者養成研修会を県内2カ所（4月 南相馬市 修了者63名、7月 福島市 修了者37名）で開催し認定した。

- (3) 視覚障がい者の情報技術の習得及び活用に関する事業

○視覚障がい者パソコン教室を12月に県からの委託を受けて図書館

で開催し6名が参加した。また、1月には図書館で福島県共同募金会からの補助金を受けてリンクポケット講習会を行い5名が参加した。

昨年度に引き続き福島県共同募金会からの補助金を受けて、福島市、本宮市で、家庭訪問を希望する視覚障がい者に訪問指導を合計42回行った。

また、支援センターを会場に、電話や来所によるパソコンの操作に関する相談を9回実施し、延べ12名が来所した。

(4) 視覚障がい者の自立を促進するための生活相談及び生活用具の活用に関する事業

○支援センターでの相談事業及び日常生活用具の展示・体験、さらには希望者に対する購入手続きの支援を通して、利用者の生活自立に協力した。

○福島県ロービジョンネットワークスマートサイト相談窓口としての相談事業や、日本網膜色素変性症協会福島支部などの他団体とも連携して幅広く相談活動を行った。

(5) 視覚障がい者の文化・スポーツの振興に関する事業

○9月に福祉大会や文化祭を開催し、また、5月の県障がい者総合体育大会をはじめ各種スポーツ大会に選手を派遣し、互いの親睦や障がい者間の交流をはかった。

○図書館やセンターの施設を、サウンドテーブルテニスや、文学講座など文化活動に広く提供した。

(6) その他この法人の目的を達成のために必要な事業

○日本盲人会連合をはじめ、関係団体、ボランティア団体との会合へ積極的に参加して、緊密な連絡調整を図った。

○地方公共団体を含む各種福祉関連の会議の出席や、障がい者施策に関する各種アンケートへの協力を行い、福祉向上の実現に努めた。

県北地区では、障がい者団体と市長との懇談会に出席(2月)、第30回福島市障がい者週間記念事業「ふれあいのつどい」に会員が多数参加しフラダンスのステージ発表(12月)、同実行委員会に年間4回出席。にじの会主催のウォーキングや交流会、研修旅行に多数参加。NPO法人ふくしまバリアフリースターセンターの理事会に2回出席。盲導犬講習会で盲導犬の役割について講演(3月)、「生きがいサークルゆうゆう」で視覚障がい者の生活について講話(8月)。

県中地区では、川崎副会長らが郡山ユニバーサルデザイン推進協議会、郡山市総合都市交通戦略協議会に委員として出席。福島県自立支援協議会障がい者差別解消支援部会に出席。障害者団体と郡山市との意見交換会に出席(10月)。

相双地区では、南相馬市飯館村地域自立支援協議会権利擁護部会に8回出席、地域福祉懇談会に出席（7月）、第6回朗読ボランティアこだまの会との交流会に22名参加（7月）、同行援護に関する研修会に講師を派遣（2月）

○学校や団体等の要請により、視覚障がい者に対する啓発のため、講師を務めた。

県中地区では、田村市立常葉小学校で点字指導や視覚障がい者の日常生活と工夫、パソコン事情について講話（9月）。郡山市障害者福祉センターに、毎月第4金曜日パソコン教室に会員を講師として派遣。

相双地区では、原町区福祉会館において朗読ボランティア初任者研修で高澤方部長が講演（12月）。

いわき地区では、平第6小学校4年生（63名）、平第3小学校4年生（76名）に青少年福祉体験学習の講話に講師派遣（9月・10月）

○県内各地の音声誘導装置の設置場所の調査や、機器の故障に対する対応を行った。

○「ラジオ チャリティーミュージックソン」へ参加し、視覚障がい者と健常者が安心して共存できる社会作りへの協力を行った。

○一般会員ならびに賛助会員の増加を図った。会員の努力により、今年度は17名に賛助会員としてご支援をいただいた。

○あん摩マッサージ指圧師、はり師、きゆう師の免許保有者で、厚生労働大臣免許保有証の発行を希望する県内の視覚障がい者3名に、発行のための事務手続きを行った。

○平成医療学園による「あはき19条訴訟」の仙台地裁における裁判に、4月に11名、7月に10名、9月に13名、11月7名、2月に6名が傍聴した。また、11月の全国統一集会には28名の会員らが参加した。

3 年間事業報告

○平成30年4月19日（木）あはき19条裁判（仙台地裁、以下場所は省略）会長以下11名傍聴。

○5月6日（日）監査会（図書館）監事2名出席、会長、専務理事、事務局長、財務部長出席。

○5月12日（土）理事会（図書館）理事8名、監事1名、顧問、さくら会計事務所2名出席。

○5月20日（日）第56回福島県障がい者総合体育大会（いわき市：サウンドテーブルテニス競技に6名）。

○5月27日（日）5月定時総会（郡山ビッグアイ）出席者137名（委任状93名）。

○6月11日（月）～13日（水）第71回全国盲人福祉大会東京大会会長以下24名参加。

- 7月15日(日) 職業自立講習会(郡山ビッグアイ) 参加者19名。
- 7月19日(木) あはき19条裁判 会長以下10名傍聴。
- 7月28日(土) 東北盲人会連合(以下、東盲連) 第1回会長会議(秋田市) 会長、事務局長出席。
- 8月19日(日) 理事会(図書館) 理事13名、監事1名、顧問出席。
- 9月9日(日)～10日(月) 研修旅行(岩手県花巻市方面) 会長以下26名参加。
- 9月16日(日)～17日(月) 第64回全国盲青年研修大会 奈良大会 青年部長以下3名参加。
- 9月27日(木) あはき19条裁判 会長以下13名傍聴。
- 9月30日(日) 第6回福祉大会及び文化祭(郡山市身障センター) 会長以下98名参加。宮城県視覚障害者福祉協会結成70周年式典に金子事務局長が出席。
- 10月21日(日) 第53回福島県点字図書館のつどい(コラッセふくしま) 155名参加。
- 10月28日(日)～29日(月) 第57回東北盲人福祉大会秋田大会(秋田市) 会長以下21名参加。
- 11月11日(日) あはき19条全国統一集会には28名の会員らが参加。
- 11月22日(木) あはき19条裁判 会長以下7名傍聴。
- 11月30日(金) 期中監査会(図書館) 赤間監事、専務理事出席。
- 12月2日(日) 視覚障がい者パソコン教室(図書館) 6名参加。
- 12月9日(日) 理事会(図書館) 理事13名参加、監事1名、顧問出席。指導者研修会(図書館) 31名参加。仙台市視障協 高橋会長の講演会。
- 1月13日(日) リンクポケット教室(図書館) 5名参加。
- 3月25日(日) : 理事会(図書館) 理事11名、顧問出席。点字図書館運営委員会 会長以下3名出席。